

令和4年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史B	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	詳説 世界史 改訂版 (山川出版社)						
副教材等	アカデミア 世界史 (浜島書店)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

・世界中の人や国が、人類の誕生以来、どのようなプロセスを歩んできたかを学ぶ科目です。聞いたことのない地名、人名、事物が数多く登場しますが、まずはこれらを知識として正しく理解して下さい。その際、意欲・関心を持って図表やその他資料を活用し、疑問点を解消する努力を怠らないで下さい。

・歴史の勉強は、知識を身につけるところがゴールではありません。様々な国の成立過程や歴史的事実を踏まえ、現在の世界や日本の現状を考察し、自分の確かな見識を深めることが本当の目標です。「自分なりに考える」ことを意識して下さい。

・語句や歴史の流れを知識として定着させるには繰り返しの復習が大事です。また、受験に備えては基礎知識を組み合わせる思考力・判断力・表現力を問われる問題に対応する力も求められます。研鑽に努めて下さい。

2 学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を、諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、現代の諸課題を歴史的観点から考察することができる。

・文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することにより歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用 of 技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や史料など、世界の歴史に関する諸資料を活用し、有用な情報を読み取る。その意味を理解し、歴史認識の助けとしている。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

※令和3年度以前入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史への扉	・気候変動と私たち人類の生活 ・漂流民の見た世界 ・砂糖からみた世界の歴史	○	○	○		a: 世界史に関わるさまざまな主題を意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	先史の世界		○			○	a: 人類の進化とその特徴について意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。 b: 人類の進化の過程、農耕・牧畜の開始の意義などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 先史の世界について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 人類の進化、文明の成立、人類と言語の分化について理解し、その知識を身に付けている。	
	古代オリエントと地中海世界	・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界	○	○	○	○	a: 古代オリエント世界、ギリシア・ローマ世界の特質や意義について意欲的に学習しようとしている。 b: この地域で成立した民主政治やキリスト教などの文明がのちの世界に与えた影響を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 古代オリエント、ギリシア・ローマ世界について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: ギリシア文明の形成とその基盤となったポリス世界の特色、ローマの帝国化の過程やキリスト教などについて理解し、その知識を身に付けている。	

※令和3年度以前入学生用

1学期	アジア・アメリカの古代文明	・インドの古代文明 ・東南アジアの諸文明 ・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明	○	○	○	○	a: 南・東・東南アジアやアメリカの基層文化の形成過程、特色およびその発展について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 中国の皇帝制度、東アジア文化圏の形成などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 南・東・東南アジアの事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 黄河文明から秦漢帝国にいたる中国社会の変動や新思想の成立、南北アメリカ諸文明の特色などを理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成	○	○	○	○	a: スキタイの影響を受けた匈奴など騎馬遊牧民による国家の活動を、オアシス民の生活と比較しながら、意欲的に追究しようとしている。 b: 唐王朝が名実ともに東アジア文化圏を形成したことを、その築き上げた整然とした国家制度や文化などから判断し、適切に表現している。 c: 内陸アジアの地勢図、魏晉南北朝時代の諸王朝の領域図や系統図などを適切に読み取り活用している。 d: 遊牧民の華北進出と定住化、均田制などの新しい制度のしくみ、唐における律令制度や文化、東アジア文化圏の形成について理解し、その知識を身に付けている。	
2学期	イスラーム世界の形成と発展	・イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・イスラーム文明の発展	○	○	○	○	a: イスラーム教の成立、イスラーム世界の歴史、イスラーム文明の影響や役割などについて意欲的に学習しようとしている。 b: イスラーム世界の特質を見だし、内陸アジア世界やヨーロッパ世界の動向と関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: イスラーム世界について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: イスラーム教の成立、イスラーム世界の歴史、イスラーム文明などについて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度

※令和3年度以前入学生用

2学期	ヨーロッパ世界の形成と発展	・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	○	○		○	a: 中世ヨーロッパ世界の社会や文化について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 中世西ヨーロッパ世界の特徴を見いだし、イスラーム世界との関わりや影響などにも着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 中世ヨーロッパ世界の社会、宗教、文化について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	内陸アジア世界・東アジア世界の展開	・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国	○		○	○	a: トルコ人のイスラーム化と西方への移動の世界史的影響、モンゴル帝国が掌握した内陸アジア全体におよぶネットワークとその影響などについて関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 中国周辺諸国の独自の文化形成、遊牧諸国家の支配体制の特徴、宋の統治体制とその社会や文化の特色などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 東西トルキスタンの地図やモンゴル帝国の領域図などを適切に読み取り活用している。 d: 契丹や女真の二重支配体制の仕組み、宋の中央集権的統治体制、モンゴル帝国の支配の特色について理解し、その知識を身に付けている。	
	アジア諸地域の繁栄	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接諸地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	○	○	○	○	a: アジア各地における14世紀以降の大帝国による支配について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 明、清の統治体制や周辺諸国との関係の特徴を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 14世紀以降のアジア各地に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 14世紀以降のアジア地域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	

※令和3年度以前入学生用

2学期	近世ヨーロッパ世界の形成	・ヨーロッパ世界の拡大 ・ルネサンス ・宗教改革 ・ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	○	○	○	a:大航海時代、ルネサンス、宗教改革の背景と影響などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:オランダ・フランス・イギリスといったヨーロッパ諸国の勢力交替、ウェストファリア条約の意義、プロイセンやロシアを軸とした東ヨーロッパの動向について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:ヨーロッパ人の航路と世界地図、ルネサンスの作品群などの諸資料を適切に活用している。 d:大航海時代、アメリカ先住民社会の変容、宗教改革、対抗宗教改革、ヨーロッパにおける主権国家体制確立の過程などに関する基本的な知識について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	近世ヨーロッパ世界の展開	・重商主義と啓蒙専制主義 ・ヨーロッパ諸国の海外進出 ・17～18世紀ヨーロッパの文化と社会	○	○	○	a:イギリス革命やフランスを中心とした国家間の抗争、東ヨーロッパ諸国の台頭に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:17～18世紀ヨーロッパ諸国の経済活動、植民地争奪戦争、大西洋三角貿易について、重商主義や産業革命へ向けての資本蓄積と関連づけて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 c:17～18世紀のヨーロッパおよびその植民地の地図、ヨーロッパ文化に関する図版などを読み取り適切に活用している。 d:科学革命や国際法、啓蒙思想、バロックやロココの芸術の具体的事例と、それを生み出した背景や社会状況に関する基本的な知識を身につけている。	
	近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン	○	○	○	a:産業革命の世界史的背景、技術革新の進展と波及、アメリカの独立などについて意欲的に追究しようとしている。 b:フランス革命をアメリカ独立革命と対比し、その現代世界への影響を考察し適切に表現している。 c:「独立宣言」の抜粋や「人権宣言」などの資料から、近代民主政治の基本原則に触れることができる。 d:産業革命期のさまざまな発明とその影響、フランス革命が起こった社会構造、革命の進展過程、皇帝ナポレオンによる支配などに関する基本的な知識を身につけている。	

※令和3年度以前入学生用

2学期	欧米における近代国民国家の発展	・ウィーン体制の成立 ・ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 ・南北アメリカの発展 ・19世紀欧米の文化	○	○	○	○	a:19世紀欧米の文芸思潮の変化，近代諸科学や技術の発展の影響を意欲的に追究しようとしている。 b:クリミア戦争以後の国際対立とビスマルク外交に関して，のちの第一次世界大戦に関連付けて考察し，文章にまとめる。 c:ラテンアメリカの独立，アメリカ合衆国の領域拡大をしめす地図や写真・図版などを適切に活用している。 d:フランスの革命運動を中心に，ウィーン体制を崩壊させたヨーロッパ諸国の自由主義や民主主義的な政治改革の動向に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	アジア諸地域の動揺	・オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 ・南アジア・東南アジアの植民地化 ・東アジアの激動	○	○	○	○	a:清朝の冊封体制の解体と新興国家日本の台頭の中で，東アジアの国際秩序が再編されていったことを追求しようとしている。 b:インド大反乱の社会的背景やタイの植民地化回避の理由を，ヨーロッパ勢力の進出と国内情勢の双方の視点から考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている19世紀の西アジアとバルカン半島の地図や図版を適切に活用している。 d:アヘン・アロー両戦争やロシアの進出により清帝国が動揺し，洋務運動に代表される近代化への取り組みが始まったことに関して，基本的な知識を身につけている。	
	帝国主義のアジアと民族運動	・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強対立 ・アジア諸国の改革と民族運動	○	○	○	○	a:帝国主義列強の侵略にさらされたアジア諸国における民族運動の形成と，このような世界情勢の中で日本が列強としてアジアへの勢力拡張に加わったことを，関心を持って学習しようとしている。 b:経済力と軍事力を背景とする欧米列強の支配による世界の一体化が，世界各地の社会の変容に与えた影響について考察し，文章にまとめる。 c:教科書に掲載されている，東アジアにおける列強の勢力圏を示す地図や図版を活用し，現在に残る影響を把握しようとしている。 d:帝国主義の特質と，帝国主義時代における欧米列強の国内問題に関する基本的な知識を身につけている。	

※令和3年度以前入学生用

3学期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 ・アジア・アフリカ地域の民族運動 ・世界恐慌とファシズム諸国の侵略 ・第二次世界大戦	○	○	○	a:第二次世界大戦の開戦に至る経過，戦争の拡大と戦場の広域化，核兵器などの大量破壊兵器の被害などを，関心を持って学習しようとしている。 b:ファシズムという運動を20世紀における大衆社会の出現と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c:バルカン諸国や第一次世界大戦の戦場となった地域をあらわす地図，大戦後のヨーロッパや東ヨーロッパ・バルカンの言語分布地図，図版・写真などを適切に活用している。 d:中国・インド・トルコなど，アジア諸地域で展開された大衆的な基盤を持つ民族運動に関する基本的な知識を身につけている。	定期考査 提出課題 発問評価 授業態度
	冷戦と第三世界の独立	・戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 ・米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 ・第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り ・石油危機と世界経済の再編	○	○	○	a:米ソそれぞれの経済協力と軍事ブロックの形成による冷戦構造について，関心を持って学習しようとしている。 b:西欧や日本の経済的な復興や高度成長を，戦後の国際政治に与えた影響と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c:アフリカ諸国の独立，中東戦争によるイスラエルの領土拡大をあらわす地図，諸地域の図版・写真を適切に活用している。 d:オイル＝ショックなど戦後政治の転換期の動向や冷戦終結への取り組みに関する基本的な知識を身につけている。	
	現在の世界	・社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展 ・途上国の民主化と独裁政権の動揺 ・地域紛争の激化と深刻化する貧困 ・現代文明の諸相	○	○	○	a:高度な科学技術のもたらした生活の変化と，それに伴う諸問題について，関心を持って学習しようとしている。 b:中国・ベトナムで進む市場開放と工業化の進展を，その抱える矛盾と関連付けて考察し，文章にまとめる。 c:インターネットや新聞などから国際社会の課題に関する情報を収集し，活用している。 d:東欧社会主義諸国の改革，ソ連邦の解体過程，EUやNAFTAなど先進経済地域の統合化の動きに関する基本的な知識を身につけている。	

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。